

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃぼつくすよろづや		団体ウェブサイトURL
	株式会社BOX4628		<a href="http://box4628.jp/">http://box4628.jp/</a>
代表者職・氏名	代表取締役・滝沢直也		
制作団体所在地	〒 171-0014	最寄り駅(バス停)	東京メトロ 要町
	東京都豊島区池袋3-1-12-702		
電話番号	03-6907-0569		
ふりがな 公演団体名	おきげいだいりゅうきゅうげいのうせんこうおーびーかい		団体ウェブサイトURL
	沖芸大琉球芸能専攻OB会		<a href="http://www.iio-okinawa.ne.jp/people/okigeidai-obkai/">http://www.iio-okinawa.ne.jp/people/okigeidai-obkai/</a>
代表者職・氏名	会長・玉城和樹		
公演団体所在地	〒 901-2122	最寄り駅(バス停)	勢理客
	沖縄県浦添市勢理客2-18-1-202		
制作団体 設立年月	2015年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問:相談役:織田紘二 相談役:川満香多・大城建太郎(実演家)	役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し琉球芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	税理士 大塚康正
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	box4628_nk@yahoo.co.jp		

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く  2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628  2015年 日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める  2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2019年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2020年「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2021年「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体)  沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所  2022年「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」</p>		
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校  2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校「落語教室」10校  2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校「落語教室」10校  2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校  2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校  2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校  2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校  2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p>		
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=rSHC1aMlfBs">https://www.youtube.com/watch?v=rSHC1aMlfBs</a>  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=ZGsZQlqXlaY">https://www.youtube.com/watch?v=ZGsZQlqXlaY</a>  <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Lkbhr9xg_4A">https://www.youtube.com/watch?v=Lkbhr9xg_4A</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	おきなわ伝統芸能「はじめての琉球古典音楽、三線にチャレンジ」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	1.「かぎやで風節」 古典音楽斉唱 八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 2.ごあいさつ、沖縄県と琉球古典音楽の紹介、●うちなーぐちクイズ 3.琉歌の紹介、●児童・生徒が作詞した作品を演奏 4.「鶴亀節」 三線の独唱 八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 5.「對馬節」 琉球箏曲の独唱 七・五調 (実演と歌詞の意味など紹介) 6.「浜千鳥」 琉球舞踊の上演 雑踊り 八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 7.楽器紹介 (構造や音色についての話) 8.「瀧落菅攪」 器楽演奏 (実演と聞き所などを紹介) 9.●装束着付け体験 10.●「きらきら星」 歌三線の演奏披露 七・五調 11.「波平大主道行口説」 組踊の上演 二才踊り 八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 12.●校歌合唱 13.カーテンコール、感想発表や質問コーナー ※●は児童・生徒の共演、参加又は体験の演目 ※別添:本公演演目①②参照 公演時間 90 分			
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	琉球古典音楽は、演奏形態や演奏の役割、歌詞に特徴があります。お祝いや、めでたい座開きの時に演奏される「かぎやで風節」を、斉唱で琉歌の形式で演奏します。長寿の象徴の鶴と亀にあやかり長寿・子孫繁栄を祈願して詠まれた歌曲「鶴亀節」を、三線の独唱で琉歌の形式で演奏します。稲嶺盛淳が薩摩で習い覚え、琉球に持ち帰ったことで伝来した声楽曲「對馬節」を、琉球箏曲の独唱で、和歌の形式で演奏します。器楽演奏は代表曲「瀧落菅攪」を演奏します。また伴奏(地謡)の役割を担う琉球舞踊からは「浜千鳥」、組踊からは「波平大主道行口説」を上演致します。			
演目選択理由	琉球古典音楽の歴史上の価値、音楽性、地方的特色を、強く感じていただける演目と致しました。 ○演奏に使われる楽器は、中国から伝来された三線、後に箏・笛・胡弓・太鼓なども伴奏楽器として加わり、宮廷音楽として発展を遂げ、冊封使の歓待儀式の際に士族によって演奏されていた歴史的背景があります。 ○斉唱・三線独唱・箏曲独唱・器楽演奏など様々な演奏形式があり、また琉球舞踊や組踊の伴奏の役割を担っています。琉球古典音楽にはこうした多様な音楽性があります。○歌詞には琉歌が使われています。首里王府によって編纂された、おもろさうしは琉球古語が多く使われ、琉歌の源流と考えられます。こうした言語文化があります。これら教育的価値の含まれる演目を、分かりやすく興味を持って鑑賞できるように、実演とレクチャー通して、お伝えしたいと考えます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●「うちなーぐちクイズ」では、案内役の進行で、うちなーぐちを二択のクイズ形式で行います。鑑賞者はその場で参加できます。 ●琉歌の紹介では、児童・生徒が作詞した作品を演奏致します ※ワークショップで、琉歌を作る課題をお出します。 ●「装束着付け体験」では、代表児童・生徒が、士族の正装、黒朝・ハチマチ・金襴大帯を着付ます。また演奏家のみなさんと山台で並んでもらい三線を構えて頂きます。 ●歌三線の演奏披露「きらきら星」:地謡と一緒に合奏です。鑑賞者は一緒に歌いましょう。 ●「校歌合唱」:地謡の伴奏による校歌合唱です。鑑賞者はその場で参加できます。			
出演者	沖芸大琉球芸能専攻OB会 会員 ・琉球古典音楽演奏家 よなは徹、比嘉千咲、宜保和也、横目大通、島袋奈美、平良大、大城貴幸、澤井每里子、大城建太郎、亀井美音、ほか ・琉球舞踊家 石川直也、新垣悟、佐辺良和、喜屋武愛香、新里春加、川満香多、伊藝武士、吉田真和、古謝渚、喜納彩華、仲嶺夕理彩 ほか			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者: 9 名 スタッフ: 7 名 合計: 16 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時30分	9時30分～11時30分	13時30分～15時	10分	15時～16時	16時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	15日	15日	15日	15日	
	11月	12月	1月	計	120日	
	15日	15日	15日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名(歌三線を演奏披露する児童・生徒)
		鑑賞人数目安	400名程度



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名位
ワークショップ実施形態及び内容	<p>◆ワークショップをスタートする前の準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場内に、三線を20挺並べておきます。</li> <li>・ホワイトボード(黒板)にテキストを付けておきます。</li> <li>・指導者が、琉装に着替えて、児童・生徒をお迎えします。</li> </ul> <p>●1単位目(1コマ) 時間40～45分(①～⑤)</p> <p>①ご挨拶、本事業についてと、琉球古典音楽のお話し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が名前と役割などを紹介します。</li> <li>・本事業の紹介と、ワークショップで学んでいただくことを、プログラム順にご案内いたします。</li> </ul> <p>②琉球古典音楽の歴史と成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17世紀の湛水親方から、現在の安富祖流と野村流についてお話します。</li> <li>・琉球古典音楽、野村流と安富祖流の演奏の違いを聞き比べてみましょう。</li> <li>・琉歌のおはなし。琉歌の特徴や歴史をお話します。その場で一緒に琉歌を作ってみましょう。</li> </ul> <p>③楽器の紹介。三線とカンカラ三線について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三線の伝来や歴史についてお話します。</li> <li>・三線のパーツ、棹、胴、糸巻き、手掛け、絃、駒、糸掛けを、バラバラにして机に置いておきます。それらパーツの素材や役割をクイズ形式で、紹介しながら組み立てていきます。</li> <li>・組立てられた三線の音色や音階、楽譜などをご紹介します。</li> <li>・カンカラ三線の、歴史的背景や構造、音色をご紹介します。</li> </ul> <p>④三線の演奏体験と、三線に使われる素材に触れる体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者全員が三線を構えて、バチを持ち1絃ずつ弾いてみましょう。</li> <li>・胴と棹で使われる黒木の素材、胴に張られるニシキヘビの皮に触れてもらいます。</li> </ul> <p>⑤最後に、ワークショップを冒頭から振り返って、感想や質問を聞かせて下さい</p> <p>◆休憩:10分</p> <p>●2単位目(1コマ) 時間40～45分(⑥⑦)</p> <p>⑥代表児童・生徒の皆さんが、三線で「きらきら星」の練習をする時間といたします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三線の構え方、弾き方を基礎から繰り返し練習します。</li> <li>・いよいよ譜面を見ながら「きらきら星」を弾いてみましょう。</li> <li>・最後に声を出して、歌いながら繰り返し演奏します。</li> </ul> <p>⑦最後に、ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせてください</p> <p style="text-align: right;">※別添:ワークショッププログラム参照</p>		
ワークショップのねらい	<p>地方的特色や音楽的特色が顕著な、沖縄県独自の琉球古典音楽を児童・生徒が初めて識り、演奏の中心的な役割を担う楽器、三線を初めて体験することでしょう。このワークショップでのレクチャーや体験を通して、楽しみながら琉球古典音楽に親しんでもらいたいと考えております。</p> <p>②琉球古典音楽の歴史や成立では、琉球古典音楽の芸術的価値をお伝えした上で、三線の音色を聞いてもらい、琉歌を作ってみましょう。③楽器の紹介では、三線の伝来や歴史、また構造を知って頂きます。またカンカラ三線についても知って頂きます。②と③を通して、初めて聞く琉球古典音楽を聞く為の手がかりや、鑑賞のポイントを知ることが出来るのではと考えます。④三線の演奏体験と、三線の素材に触れる体験では、三線の重さ、絃を押さえる、爪で弾くなど演奏する為の技術を知り、たくさん練習や経験が必要であることをお伝え出来ると考えます。⑤振りかえりでは、児童・生徒さんが反芻する時間を作ります。ワークショップで見て、聞いて、触れて、感じて、話したことなどを思い出してもらうことで、感性を育むことに繋がると思うのです。⑥代表児童・生徒が、三線で「きらきら星」の練習では、本公演への興味関心を促すと共に、自主性と主体性を育むことに繋がる考えます。このような地方的特色の顕著なワークショップを行うことで、文化的な地域格差の解消促進に繋がると思うのです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本公演までの課題として、琉歌を作ってみてください。</li> <li>作った歌詞に節を付けて、本公演に於いて、地謡が演奏します。</li> <li>・校歌の音源と楽譜をお借ください。本公演に於いて校歌を地謡が演奏し、児童・生徒と共演を行います。(授業時間などに差し支えない程度で取り組んでみてください)</li> <li>・ワークショップ後、三線「きらきら星」の練習動画を、お送りします。</li> </ul> <p>独立行政法人日本芸術文化振興会、文化デジタルライブラリーから以下のサイトをご紹介します。</p> <p>【琉球古典音楽】  <a href="https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc8/rekishi/ryukyu/index.html">https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc8/rekishi/ryukyu/index.html</a></p> <p>【日本の伝統楽器】—楽器編—  <a href="https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc6/edc_new/index.html">https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc6/edc_new/index.html</a></p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>世界は、人、物、情報、経済のグローバル化が加速し進展しています。またITの急激な進歩、普及により、先進国はもとより開発途上国も大きな変化が起きている時代です。そうしたことでグローバル化によるメリットや課題も多くあります。</p> <p>本事業の実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者の周辺には、多くの社会問題また教育問題があります。社会問題には、貧困、少子高齢化、人材・後継者不足、介護問題、ヤングケアラー、地域格差などがあります。教育問題には、いじめ、引きこもり、教育格差、学力低下、教員不足などがあります。</p> <p>こうした時代に、私共は本事業に於いて、使命感、責任感を持ち、教育現場における感度を共有し、広い視野を持って取り組むことが大変重要だと考えます。</p> <p>実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者は、日本の伝統芸能である琉球舞踊と組踊を、初めて観て、聞いて、体験する機会となります。それは重要なことと思うのです。なぜなら本事業を通して、文化的な地域格差の解消を促進に繋がると考えます。</p> <p>人生に於いて、二度と観ることが無いかもしれません。</p> <p>そこで重要なことは、公演団体、制作団体がワークショップ、本公演を、どのようなものと考え、取り組むかです。それは一人でも多くの児童・生徒さん、学校関係者、保護者や近隣の皆さんに親しみを持って、寄り添い、琉球舞踊と組踊の素晴らしさ、楽しさ、魅力をお届けすると共に、日本の芸能に於いて、芸術上特に価値が高いものであることを、お伝えすることと考えます。そうした取り組みが、豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力の向上、また未来の実演家の育成にも繋がると思うのです。</p> <p>ワークショップでは、制作団体と公演団体が、充実した時間となるよう、工夫してプログラムをお送りします。本公演へ繋げる事前学習の場とし、本公演を鑑賞する為の手がかりや、ポイントをお伝えします。また実技指導や共演の練習では、コミュニケーションを積極的にはかり、身近に琉球舞踊と組踊を感じていただけるよう取り組みます。</p> <p>本公演では、実演家に於いては、日々努力研鑽した成果を表現すると共に、芸能への姿勢をあらためて正し、芸格が向上するよう取り組むべきであると思うのです。</p> <p>また、公演団体は必ず事前リハーサルの時間を設けます。そこに監修者※と私共、制作団体が立ち会い、事業に取り組む姿勢を、共有し再確認致します。</p> <p>日本独自の伝統芸能を鑑賞し体験・参加することで、日本人のアイデンティティの形成と、教養基盤構築の一助に繋がりたいとも考えます。</p> <p>私共、制作団体は、教育現場における環境や状況を考慮し、教職員の方々と共有させていただき、謙虚に真摯な姿勢で、沖芸大琉球芸能専攻OB会と共に、株式会社BOX4628は取り組ませて頂きたく存じます。</p> <p>※琉球古典音楽監修者 新垣 俊道 沖縄県立芸術大学准教授 国立劇場おきなわ組踊研修(胡弓)講師 前沖縄伝統組踊「子の会」会長</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催校が決まりましたら 制作団体、公演団体の情報や、公演内容を早く理解していただくために、資料などをメールで送らせて頂きます。教員内、学校内の周知にご利用下さい。</li> <li>・実施校とのワークショップ、本公演までの事前の推進業務にあたり、私共との連絡方法として、固定電話、携帯電話、メールなどで速やかに対応致します。</li> <li>・本事業の実施が初めての学校には、本事業のご説明、ご案内なども丁寧に行います。また、ワークショップ、本公演に至るまでのスケジュールについても詳しくご案内いたします。</li> <li>・ワークショップから本公演開催日までの、事前学習として、琉球古典音楽に関する情報の掲載されている、公共のホームページなどもご案内いたします。</li> </ul> <p>以上が、本事業に対する取り組み姿勢、および効果的かつ円滑に実施するための工夫でございます。何卒よろしくご願ひ申し上げます。</p>
--	---

リンク先 No.2

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

### 本公演プログラム

1. 古典音楽斉唱  
「かぎやて風節」



2. 沖縄県の紹介  
うちなーぐちクイズ

3. 琉歌の紹介  
児童・生徒が作詞した作品を演奏



4. 三線の独唱 つるかめぶし  
「鶴亀節」



5. 琉球箏曲の独唱 つしまぶし  
「對馬節」



6. 琉球舞踊の上演 はまちどり  
「浜千鳥」

7. 楽器紹介  
(構造や音色について)

笛 ふえ



三線 さんしん



胡弓 こきゅう



箏 ことう



太鼓 たいこ

本公演演目①



リンク先

No.2

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

### 本公演プログラム

#### 8. 器楽演奏

たきうどうちすがた  
「滝落菅攪」



#### 9. 装束着付け体験

本公演演目②

#### 10. 歌三線の演奏発表 「きらきら星」



#### 11. 組踊上演 波平大主道行口説

はんじゃうふぬしのみちゆきくどうち



#### 12. 校歌合唱



#### 13. カーテンコール 感想発表や質問コーナー



リンク先

No.2

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

## ワークショッププログラム



①ご挨拶と琉球古典音楽のお話し  
うちなーぐちのあいさつ  
ハイサイ!  
皆さんも一緒にハイサイ!



②琉球古典音楽の  
歴史と成立  
琉球古典音楽はいつ頃、  
誰が、何の為に作ったのかな。  
どんな特徴があるのかな。



③楽器の紹介  
三線とカンカラ三線  
三線はいつ頃、出来たのかな。  
どんな音色がするのかな。  
三線をパーツごとに紹介します。  
組み立てられた三線の音色や音階を聞いてみましょう。  
また、カンカラ三線の歴史背景を学び、その音色を聞いてみましょう。

ワークショップ  
プログラム

④三線の演奏体験と  
三線に使われる素材に  
触れる体験  
参加者全員が、三線を構えてバチを持ち弾いてみよう。  
三線の素材、黒木やニシキヘビの皮、なぜこの素材なのかな。

⑤ワークショップを振り返ってみよう  
感想や質問をみんなでシェアしましょう。



⑥歌三線  
「きらきら星」の練習  
三線を構え、繰返し弾いてみましょう。  
演奏ができるようになったら、歌いながら演奏してみましょう。。